

高めよう、地域の防災力 令和元年度白鷹町総合防災訓練

10月20日、鮎貝小学校周辺において令和元年度白鷹町総合防災訓練が行われました。

訓練は、大雨により土砂災害警報が発令され最上川の堤防が決壊する恐れがあるとの想定で、町消防団や鮎貝各地区の自主防災会、鮎貝小学校の児童などが参加し、水防訓練や災害救助訓練、初期消火訓練、火災防ぎょ訓練などを実施しました。町では、10月12日に通過した台風19号により、避難準備情報が発令され、災害発生寸前までの状況となりました。いつ起こるかわからない災害に備え、真剣に取り組みました。

1_ 応急救護訓練 / 2_ 鮎貝小学校の児童による初期消火訓練
3_ 給食訓練



旧友とふるさとの思い出を語り合う 第41回首都圏白鷹会総会を開催

首都圏に在住の白鷹町出身者で構成される首都圏白鷹会。その第41回目となる総会が10月27日、上野精養軒（東京都）を会場に開催されました。

この日は、約150人が出席。町からも町長をはじめ町議会議長および議員、産業界の代表など13名が出席し、情報交換が行われました。総会では、令和元年度の活動報告等が協議され、その後は懇親会を開催。

また、会場では、町観光協会が菊やあけび、地酒加茂川など19社85品目の特産品を販売したほか、サンファームしらたか、工房お富久呂も現地にて出店、販売を行い、ブースは「毎年、懐かしい味、旬の食材を楽しみにしている」という参加者で賑わいました。



終始和やかな雰囲気にも包まれました

令和元年度

山形県少年少女スポーツ交流大会

〔開催期間〕 9月28～10月6日 / 県内各会場

〔団体の部〕

■ミニバスケットボール競技

〔少女の部Cブロック〕

第1位 白鷹ミニバスケットボール

■サッカー競技

〔少年の部Aブロック〕

第1位 FCホークス

■剣道競技

〔少年の部Bブロック〕

第2位 白鷹剣道愛真会

〔少女の部Bブロック〕

第3位 白鷹剣道愛真会

〔個人の部〕

■陸上競技

〔少年の部4年60㍃〕

第1位 佐藤銀河 9秒12

〔少女の部4年60㍃〕

第2位 紺野瑠菜 9秒44

〔少女の部ジャベリックボール投〕

第5位 金子凜音 28m08

田植えから脱穀作業までを体験 東根小学校児童が米づくりを学ぶ

10月15日、東根小学校の5年生31人が脱穀作業を体験しました。

児童たちは、小山沢地区中山間地域づくり協議会の皆さんから指導を受け、5月から田植え、草刈り、稲刈りを体験してきました。今回は最終工程である脱穀作業ということで、班ごとに仕事を分担しながらもくもくと最後の作業に汗を流しました。

作業を終えた児童たちは、「とても楽しい体験だった。自分たちがつくったお米を早く食べたい。」と話し、達成感に満ちた表情で、新米を食べられる日を心待ちにしていました。



脱穀機に乾燥させた稲を並べる児童たち

たくましい園児たちが農家デビュー！？ ひがしね保育園で稲刈り体験

10月15日、ひがしね保育園ひまわり組の園児たち15人が稲刈り体験を行いました。

種まきからはじまった米づくり体験。毎日、すくすくと育っていく稲を見守り続け、「いよいよ稲を刈る時が来た！」と園児たちは大はしゃぎ。農協青年部の方たちに教えてもらいながら、丁寧に刈り取り、刈った稲を稲木に束ねました。一度に何束も担いで力いっぱい運ぶ姿に、見学に来ていた年下の園児たちも「すごい！」と大興奮していました。

今後は、乾燥した稲を脱穀し、愛情たっぷりつまった新米は園児たちによって餅つきが行われ、みんなでいただく予定です。



刈り取った稲を稲木まで運ぶ園児たち

ふるさとの人、食材、豊かな文化にふれあう 町内各小学校で郷土食伝承事業

郷土食伝承事業は、白鷹町食の文化街道推進会議が郷土食の味とともに地場産農産物、自然、文化の豊かさ、先人の知恵などを子どもたちに伝えるために14年前から毎年実施している事業です。今年も町内各小学校の6年生を対象に行われ、栗ごはんや芋煮、漬物、冷やする、じんだん和えなど数多くの郷土料理が並び、ふるさとの味を堪能しました。土里夢館でふるさとの味を楽しんだ荒砥小学校の児童たちは、「とてもおいしかった！」「初めて食べた料理が多く、こんなにおいしいものがあるのだと思った」と郷土の食への関心を高めました。



生産者の方に感謝し、味わいながらいただく児童たち